

# Orthopedics

## 他の病・医院とも 密に連携しながら 症状に合わせた治療を

常勤医の増加で4人体制に  
脊椎の診療など  
より専門的な分野にも対応



常深健二郎整形外科診療部長

「整形外科では今年4月から常勤医が新たに3人増え、4人体制になりました。これからは、今までできなかった症例にも対応することができまます」と話すのは常深健二郎整形外科診療部長。

患者さんには腰痛や首の痛み、関節痛などを抱える人が多いそうです。

「外来では関節痛などの慢性疾患に対する薬物療法や理学療法などの保存的治療や、骨折の治療に取り組んでいます。また必要に応じて手術も行います」

最近では脊椎の診療も実施。より専門的な分野にも対応することができるようになりました。

「脊椎の専門医による診療なので安心して受診してください。今は月に1度だけですが、これからは必要に応じて診療の回数も増やしていこうと考えています」

また、整形外科では症状に応じて適切な対応をするために、地域の医院や大学病院などとも連絡を取り合っています。

「中には対応が難しい症状の患者さんもあります。そのよ



うな場合は他の病・医院と密に連携を取り合いながら治療に当たります。例えば、困難な手術は大学病院などで行い、その後のリハビリなどは当院で行います。最終的には地域の医院に通院してもらうようにします。家の近くで通院できた方が、患者さんととって安心ですからね」と常深医師は話します。

「これからは、腱鞘炎の腱鞘切開術など手外科の手術や、手関節や股関節を骨折をしたときの骨接合手術などにも力を入れます。関節痛などで悩んでいる人も、一度当院で受診していただければと思います」

### 市健康な日常生活を送るために 市民医療講座を開催

コラム「市立川西病院の今」に登場した常深健二郎さんほかを講師に「骨粗しょう症の予防と治療」などをテーマにした講演会と、ソプラノ歌手によるコンサートを。

と き 8月23日(日)午後1時開会  
と ころ アステ市民プラザ  
問 合 せ 市立川西病院地域医療連携室 Tel (794) 2321



## 具だくさん中華スープ 夏バテにトマトの爽やかな酸味をどうぞ

おとな子どもも  
食と育つ 健康づくり室  
Tel (758) 4721

レシピ提供：市立保育所給食部会

- 材料 (おとな2人・子ども2人分)
  - 鶏ささ身 ..... 90g
  - 豆腐 ..... 1/3丁
  - トマト ..... 1個
  - ニラ ..... 1/5束
  - 鶏骨ほか (鶏ガラスープ3カップ分。果粒でも可) ... 1羽
  - ★ { 薄口しょうゆ ..... 大さじ1
  - ごま油・塩コショウ ..... 適宜
- 熱量 (1人分)：130kcal、塩分：1.4g

- 作り方
- ①鶏骨は水洗いし沸騰したお湯へ。白くなったら取り出し、血合いや内臓を洗い流してから、適当な大きさに切り分ける。
- ②鍋に必要な量の倍の水と鶏骨、野菜くずを入れ、沸騰後、弱火にし、あくを取り2時間煮込む。ざるでこし、スープを作る。
- ③鶏ささ身と豆腐、皮を湯むきしたトマトは1cmの角切りに、ニラは1cm幅の小口切りにする。卵は割りほぐす。
- ④スープを火にかけ、鶏ささ身、トマト、豆腐の順に入れ、火が通ったら★で味付け。ニラを入れ、卵を回し入れる。

消費生活センターだより 消費生活センター  
Tel (740) 1167

## アダルトサイトに登録され高額請求

### ワンクリック請求に気を付けて トラブルを解決するという事業者にも注意

事例 スマートフォンで無料のアダルトサイトを見ていたら、年齢確認の画面になった。「18歳以上ですか？」の問いに「はい」をクリックしたら突然「登録ありがとうございます。登録料9万8,000円を払ってください」という画面になった。「誤って登録された人はこちらへ」と問い合わせ先があったので「取り消してほしい」とメールを送ったが「退会手続きは完了していません。お電話ください」と返信があった。電話をすると「登録料を支払わないと退会できません。今日中に9万8,000円を支払ってください。明日以降だと22万円になります」と言われた。驚いてインターネットで調べた「トラブル解決窓口」というところに相談したら「解決のための調査費用は3万9,800円だ」と言われた。登録料や調査費を払わないと解決できないのだろうか。(60歳代 男性)

これはワンクリック請求と呼ばれるものです。「18歳以上ですか？」の問いに「はい」と答えただけで「契約します」とは伝えていないので契約は成立していません。支払う必要はありません。料金表示が分かりにくく、確認の画面が出ない場合は錯誤により無効との主張も可能です。サイトに連絡すると個人情報聞き出されてしまうことが多いので連絡しないようにしましょう。

ワンクリック請求を解決したいと思ってインターネットで見た、トラブルを解決するという事業者に相談し高額な調査費用を請求されたという事例もあります。このような事業者が調査会社や行政書士などの場合は返金や解約の交渉はできません。まずは消費生活センターに相談してください。

人権啓発シリーズ 人権推進課  
生きる Tel (740) 1150

## 小学校での法教育

### 正解のない問題を考える 人によって意見は異なることを実感

今月は小学校での「どんぐりの分け方」の授業を紹介いたします。これは「3人の子どもが遠足でどんぐりを拾った。Aさんは18個拾った(しかしどんぐりは必要としていない)。Bさんはけがで6個しか拾えなかった(しかし工作で使うためどんぐりを必要としている)。Cさんはどんぐりのある場所を友だちに教えてあげた(しかし遊んでいて6個しか拾わなかった)。拾ったどんぐりは30個。どう分けるのが公平でしょうか？」という授業です。

最初に尋ねたときに一番多い答えは「3人で10個ずつ」。しかしその後「どんぐりが必要か」「どんぐりを拾うのに貢献したか」「どんぐりを拾うことができる能力があったか」などの視点を伝え、再度考えてもらうと「Aさんはたくさん拾ったけれどどんぐりを必要としていないから9個でよい」「Bさんはけがで少ししか拾えなかったけれど、どんぐりが必要だから12個あげるべき」などなど、子どもたちから、分け方に差を付けるさまざまな理由とさまざまな分け方が出てきます。

この授業で、子どもは、ある視点に基づいて考え、結論を導く経験をし、同じ視点から考えても人によって結論が異なることや、他の子どもの説明にも一定の説得力があることを知り、正しい結論が一つとは限らないことを体感します。

授業中、子どもたちは活発に自分なりの意見を発表してくれました。「答えがない問題を考えたことがあまりなかったので、新鮮で楽しかった」といううれしい感想もありました。(弁護士・元川西市子どもの人権オンプerspersion 勝井映子)【人権標語入賞作品「人は皆 違うからこそ 助け合う」】